

募集締切

令和7年7月11日(金)
市町村民会議事務局へ提出

令和7年度の助成団体を募集します！

助成額上限
10～20万円

青少年の 主体的な活動支援事業

青少年の主体的な活動やネットワークづくり、青少年の居場所を運営する団体を支援します！

A

青少年 地域活動 チャレンジ 支援事業

青少年自身が主体的に
企画・運営する青少年育成
活動や地域活動等への助成

B

青少年育成 ネットワーク モデル 支援事業

青少年団体等が他団体との
つながりづくりのために行う
活動への助成

C

青少年の 居場所 応援事業

青少年の居場所運営団体の
恒常的な活動への助成

1 助成対象団体

■A・B

島根県内在住者で構成された青少年団体、またはその活動を支援する団体
(特定非営利活動法人、一般・公益法人、任意団体など。市町村民会議、地区青少協も対象)

■C

島根県内で青少年の居場所を運営する団体(3年以上の活動実績があること)

2 助成対象期間

令和7年4月1日～令和8年2月末日

3 助成額・助成団体数

助成額：■A・B 5万円～20万円 ■C 5万円～10万円

助成団体数：■A・B 合わせて8団体程度 ■C 3団体程度

4 応募方法

募集要項・申請書様式を青少年育成島根県民会議ホームページ(<https://www.shimane-youth.gr.jp>)に掲載します。(6月予定)詳細は募集要項をご覧ください。

5 選考方法

青少年育成島根県民会議企画運営委員会事業部会にて審査、選考します。

6 選考結果

令和7年8月上旬～中旬に申請団体にお知らせします。

■問い合わせ先

青少年育成島根県民会議

松江市殿町1番地 島根県健康福祉部青少年家庭課内

TEL 0852-22-6255 FAX 0852-22-6045

E-Mail: nobinobi@shimane-youth.gr.jp



昨年度の助成団体の一部をご紹介します！

（令和6年度は9団体に助成）

A 青少年地域活動チャレンジ支援事業 青少年の主体的な活動やその活動を支援する大人の支援体制づくりへの助成

U-15カマテミーティング

＜団体名＞

かまて地域づくり協議会ひとづくり部会（BEYOND）（益田市）

地域の中で小中学生がやってみたいことを自分たちのチカラでカタチにし、その過程で学び、仲間と達成感を共有しながら成長して欲しいという想いで令和4年度から活動しています。月に1回ミーティングを開催することを決めています。令和6年度はピザづくり、SUP体験、モルック、公民館でのお化け屋敷などを企画しました。

活動が子ども同士の交流の場になるとともに、学びや成長の場にもなっています。共通の目的に向かって協力することで、仲間同士の絆が深まり、チームワークの重要性を実感することが出来ました。また、地域の大人たちとの交流を深める良い機会にもなり、地域への愛着や人間関係を築く力が生まれ、子どもたちのエネルギーや創造性により地域に新しい風を吹き込むことが出来ました。



こなんフェスタ

＜団体名＞

こなんフェスタ実行委員会（松江市）

松江市湖南地区の中学生有志による実行委員会が、公民館を会場に夏祭りを開催しました。中学生自らが企画立案、調整を主体的に行い、事務局として乃木地区・忌部地区青少年育成協議会とNPO法人 KEYSが参画することで青少年の社会性を育むことにも寄与しました。



B 青少年育成ネットワークモデル支援事業 青少年団体等が他団体とのつながりづくりのために行う活動への助成

高校生の演劇プロジェクト in 雑賀町

＜団体名＞

あめいろ（松江市）

高校生を中心に、子どもたちに分かりやすい演劇を公演することで地域の良さを再発見してもらうため、演劇好きな高校生たちの交流の場として発展させるために活動しています。

令和6年度は、松江市民にとってなじみ深い「松江城」に焦点を当て、堀尾吉晴と現代を生きる高校生をテーマにした「ギャルと水都と吉晴と」を公演しました。



C 青少年の居場所応援事業 継続的に青少年の居場所を運営する団体等への恒常的な活動への助成

Ipad・Appleペンシルの購入

＜団体名＞

NPO法人 緑と水の連絡会議（大田市）

青少年の居場所「ゆきみーる」を運営しています。

以前から使用していたタブレットが古くなり、使いたいアプリがダウンロード出来なくなったため、助成を活用しタブレットとペンシルを新しく購入させていただきました。

ダウンロードしたアプリを使用し、子どもたちがデジタルでイラストを描いたり、ひらがなや計算練習をしたり出来るようになり、居場所での活動がより充実するようになりました。

